

高額療養費の負担増への対応について

A 制度の持続性を踏まえつつ、生活への影響に配慮したい

高額療養費 自己負担限度額引き上げについて

Q 高額療養費制度は、重い病気や長期療養が必要な方が安心して治療を受けるための「命綱」です。しかし、政府は一旦凍結した高額療養費制度の自己負担限度額引き上げについて、令和8年8月に一律に引き上げた上で、令和9年8月には現在の4つに分けられている所得区分を13区分に細分化し、大幅な負担増を計画しています。

A 町長 物価高騰が続く中、更なる負担を強いることは、受診控えなどを招くおそれがあります。町長は、高額療養費制度の自己負担限度額引き上げについてどのように考えていますか。

A 町長 高額療養費制度は、重い病気や長期療養が必要となる場合でも、過度な自己負担を抑え、安心して医療を受けられるための重要な制度だと認識しています。現在、国では、患者団体、保険者、医療関係者、有識者などを交えて、高額療養費制度のあり方について議論が進められているところですが、高額療養費制度が患者や家族の生活を支える重要な役割を果たしていることを前提としつつ、高齢化や高額な薬剤の開発などに伴う医療費の増大に対応し、制度を堅持するための方策について整理されているところです。

私個人の見解として、制度改正の良し悪しを明言することは控えますが、「誰もが必要なきに安心して医療を受けられる環境を維持する」ことが、最も重要であると考えています。

町として独自の支援を行う考えは

Q 高額療養費の自己負担限度額引き上げについて、町で独自の補てんをする考えはありますか。

A 町長 医療費負担を町が直接補てんすることは制度上難しいと考えています。制度改正により生活に影響が及ぶ可能性があることは重く受け止めております。

今後の状況を把握するとともに、制度の内容を理解していただくよう周知に努めながら、暮らしを支えるためにどのようなことができるのか担当課と連携しながら対応していきたいと考えています。

※現在国で審議中の内容であり、今後変更となる可能性があります。

出典：社会保障審議会（医療保険部会 高額療養費制度の在り方に関する専門委員会）

所得区分
年収約1,160万円～
年収約770～約1,160万円
年収約370～約770万円
年収～約370万円
住民税非課税



広報とよころ

議会だより

役場だより

特色ある茂岩市街地づくりに向けた取組は

A 町民参加のワークショップで意見反映したい

- 大崎議員は、町政執行方針の施策推進について
- ① 人口減少対策
 - ② ゼロカーボン施策の推進
 - ③ 特色ある中心市街地づくり
- 以上3つの視点から一般質問を行いました。

人口減少対策について

Q 本町の令和8年1月末現在の人口は2,765人、前年同月比90人、3.2パーセントの減となっている。

A 町長 今後の人口減少対策について町長の考えは。

A 町長 人口減少は全国的な課題で、本町においても出生数の減少や高齢化の進行などで人口減少が進んでいます。本年3月に策定した「豊頃町ま

ち・ひと・しごと創生総合戦略」では、将来人口推計を踏まえた上で、2030年度の総人口の目標を2,598人とし、4つの基本目標に基づき、施策を体系的に整理しました。人口減少は短期間で改善できる課題ではありませんが、総合戦略に基づき、施策の効果検証を行いながら、持続可能な地域づくりを進めてまいります。

Q 例えば、定住促進のために町外通勤助成を行っています。対象は60歳までです。定年延長などを受けて、対象を拡大する考えは。

A 町長 町外通勤助成は、当初、若者向けの事業として始めましたが、更なる定住促進を目的に、対象を40歳から60歳まで拡大したところです。今後、社会情勢の変化などを考慮した上で検討したいと思っております。

ゼロカーボン施策進捗と今後の取組は

Q 本町は令和6年3月に「ゼロカーボンシティ宣言」を表明しました。2030年までの削減目標の経過実績と今後の取組について伺います。

A 町長 経過実績については、温室効果ガス排出量を算定することに専門的な分析が必要であることから、現状では把握しておりません。令和9年度を中間年、令和12年度を最終年として、それぞれ集計分析し、公表する予定です。

今後の取組については、2030年度までに温室効果ガス排出量を基準年の2013年比で46パーセントの削減を目標に、町民や事業者と連携しながら、再生可能エネルギーの導入促進などを進めてまいります。

特色ある茂岩市街地づくりに向けた取組は

Q 茂岩市街地の空き店舗が目立ちますが、将来の構想について町長の考えを伺います。

A 町長 人が集い交流できる場をつくるのが重要だと思っております。現在、茂岩本町の消防庁舎の建て替えを計画していますが、これも市街地づくりの一つの契機だと捉えています。

今後、商工会をはじめ、関係団体と調整を図りながら、町民参加型のワークショップの開催を予定しています。地域の皆様の意見をしっかりと伺いながら、特色活かした魅力ある市街地づくりを進めてまいります。



広報とよころ

議会だより

役場だより